

2021年9月22日

報道関係者各位

株式会社ニュースダイジェスト社
愛知県機械工具商業協同組合

426社・団体、1,796小間で今年、国内最大の工作機械見本市を開催 「メカトロテックジャパン(MECT)2021」を10月20日から名古屋で

株式会社ニュースダイジェスト社（名古屋市千種区、代表取締役社長・樋口八郎）と愛知県機械工具商業協同組合（理事長・水谷隆彦）は10月20日（水）～23日（土）の4日間、工作機械見本市「メカトロテックジャパン（MECT）2021」を名古屋市港区の名古屋市国際展示場（ポートメッセなごや）で開催します。新型コロナウイルスの感染防止対策に必要なスペースや通路幅を捻出するため、募集小間数を例年よりも1割ほど削減しました。出展者数は426社・団体（前回477社・団体）。そのうち50社（同58社）が初出展です。展示規模は1,796小間（同1,941小間）で、国内で今年開催される工作機械見本市としては、最大規模となります。会場内に展示される工作機械は大小含めて197台、鍛圧・板金機械は17台。また、982点の新製品（1年以内に発表されたもの）が展示される予定です。世界24カ国・地域から製品が一堂に会します。（※いずれも9月21日現在）

毎回、世界最先端の技術の実演展示に挑戦するコンセプトゾーン（主催者企画展示）では、「未来を変える新時代の自動化」をテーマに、生産現場に最適な産業用ロボットの活用法や高度化したシステムなどを会場内で紹介します。人手不足の深刻化や生産性向上に加えて、生産現場での新型コロナウイルスの感染拡大を予防する観点からも関心の高まるロボットの新たな可能性に迫ります。また主催者企画のセミナーでは、トヨタ自動車や日産自動車、ボーイング、安川電機などから講師を招き、それぞれの分野からものづくりの今後について講演します。

今回展では出展者および来場者を含めた関係者の皆さまの安全を最優先に考え、新型コロナウイルスの感染状況を注視し、状況に合わせた感染防止対策を講じながら、開催に向けて準備を進めております。開催期間中も各種対策を講じて会場運営にあたります。詳細につきましては公式サイトの特設ページ（<https://mect-japan.com/2021/about/antivirus.html>）でご案内します。

【MECT2021 概要】

- 会場：ポートメッセなごや（名古屋市国際展示場）
- 開催期間：2021年10月20日（水）～10月23日（土）の4日間
- 開場時間：10:00～17:00 ※22日（金）は18:00まで、最終日23日（土）は16:00まで
- 主催：株式会社ニュースダイジェスト社 共催：愛知県機械工具商業協同組合
- 入場料：大人1,000円、10人以上の団体は1人500円 ※事前来場登録者は無料
- 出展対象製品：工作機械、鍛圧・板金加工機、射出成形機、3Dプリンター、機械工具、のこ刃、切削工具、工作機器、測定機器、試験機器、研削砥石、研磨材、油圧・空圧・水圧機器、歯車・歯車装置、環境・安全対応機器装置、CAD/CAM/CAE、制御装置・関連ソフトウェア、産業用ロボット、搬送装置、洗浄機械装置、品質管理・安全・試験認証機関、新素材、マイクロマシン、ナノテクノロジー関連など

MECT 2021

メカトロテック ジャパン 2021

MECHATRONICS TECHNOLOGY JAPAN

【コンセプトゾーン概要】

- テーマ：「未来を変える 新時代の自動化」
- 開催場所：ポートメッセなごや1号館内特設会場
- 展示内容

A：遠隔操作で広がる可能性（協力：川崎重工業）

製造現場のいたるところに存在する「物流作業」。川崎重工業は、自走ロボットと遠隔操縦技術を組み合わせることで、従来は困難だった多種多様な物流作業の自動化を実現します。「人間とロボットが共存共栄する社会」を目指す同社が開発した、国内初披露の最新自動化ソリューションを通じて、「新しい協働のあり方」と共に、遠隔操作の優位性や今後の可能性に迫ります。



B：柔らかい物をロボットで貼る（協力：豊臣機工／トライエンジニアリング／進和）

これまで人の熟練技術に頼っていた、自動車部品や家電などに使用される柔らかい「シールスポンジ材」の貼り付け作業をロボット化。自動車部品メーカーの豊臣機工が中心となって開発したロボットシステムを使い、曲線や曲面など複雑な形状へのシール貼りの作業や自動切断などを実演します。ロボットとの競争を通じて、シール貼りの速さや正確性などを体験できるコーナーも用意します。



C：ロボット×AIで難作業を自動化（協力：デンソーウェーブ）

デンソーウェーブが提供する最新の人工知能（AI）技術を活用することで、これまで自動化が困難だった作業のロボット化を実現。国内初披露となるAI物体認識によるピッキングをはじめ、AI模倣学習を使ったハーネスの組み付けなど、具体的な活用例を複数紹介します。この他、軽くて小さい人協働ロボット「COBOTTA」に触れながら、性能を体験できるコーナーも設置します。



D：手軽で使いやすいロボットの魅力（協力：安川電機）

ものづくりの多様化が進む中、フレキシブルな生産体制の構築は今後ますます重要になります。安川電機製の人協働ロボットと手押し台車の組み合わせは、簡単に教示でき、いつでもどこへでも自在に動かせるため、生産ラインのレイアウト変更にも柔軟に対応できます。会場では、より使いやすくて場所を選ばない、ハンドリング用途に適した最新の「人協働ロボットパッケージ」を紹介します。



【コンセプトゾーンについて】

生産現場向けの最新技術を1号館の特設会場で実演展示することで、来場者に少しでも仕事のヒントをつかんでもらい、国内の製造業を活性化することが狙い。前回展では「中小必見！！ロボットで現場が変わる」と題し、中小企業の生産現場で使いやすい産業用ロボットや自動化システムを紹介した。

MECT 2021

メカトロテック ジャパン 2021

MECHATRONICS TECHNOLOGY JAPAN

【セミナー概要】

- 開催場所：交流センター3階会議ホール
- 開催時間：10月20日（水）～22日（金）①13:00～14:00 ②14:30～15:30
- 聴講料金：無料 ※MECT 会場への入場料 1,000 円は別途必要です
- 申し込み方法：公式ウェブサイト (<https://mect-japan.com/2021>) セミナーページから受け付け
- 定員：各セミナーとも 250 人（先着順）

●講演内容

10月20日（水）テーマ「自動車」クルマづくりの概念が変わる

講演①：13:00～14:00

「カーボンニュートラルを見据えたモノづくりの進化」

トヨタ自動車 生産本部 衣浦工場 工場長 野村英司 氏

講演②：14:30～15:30

「日産自動車 電動化に向けたパワートレインのモノづくりの進化」

日産自動車 常務執行役員 パワートレイン生産技術開発本部 本部長 村田和彦 氏

10月21日（木）テーマ「航空機」これからの航空機産業

講演①：13:00～14:00

「航空宇宙業界が直面する課題とチャンス」

ボーイング ボーイング民間航空機部門 アジア地区

グローバルフィールド オペレーションズ シニアマネジャー フィリップ・チャン 氏

講演②：14:30～15:30

「日本一の航空宇宙産業クラスターの形成に向けて」

航空宇宙生産技術開発センター センター長 小牧博一 氏

10月22日（金）テーマ「ロボット」自動化の最新トレンド

講演①：13:00～14:00

「ロボットによる変種・変量生産の実現

～i3-Mechatronics 具現化に向けたソリューションのご紹介～」

安川電機 取締役 常務執行役員 ロボット事業部長 小川昌寛 氏

講演②：14:30～15:30

「最新ロボティクスによる『ものづくり』のトレンド」

三菱電機 FA システム事業本部 機器事業部 主管技師長 武原純二 氏

MECT 2021

メカトロテック ジャパン 2021

MECHATRONICS TECHNOLOGY JAPAN

【会場速報について】

MECT2021 公式サイト内に、MECT の見どころなどをいち早く発信する特設ページ「会場速報」を設けます。各社の新製品の紹介と、自動化やモノのインターネット（IoT）、人工知能（AI）など最新技術に関する展示の内容だけではなく、来場者の関心を集める実演の様子や出展者の意気込みなど展示会の雰囲気、会場内の混雑状況などの情報を随時配信します。10月18日（月）に公開予定です。



【メカトロテックジャパンについて】

1987年にスタートした、工作機械を中心とするFA技術専門展。西暦奇数年の秋に名古屋市の名古屋市国際展示場（ポートメッセなごや）で開催される。奇数年のFA展としては、国内最大規模。通算17回目となった2019年展では、477社・団体（1,941小間）が出展し、90,244人が来場した。

【株式会社ニュースダイジェスト社について】

創業：1964（昭和39）年3月 設立：1968（昭和43）年5月

代表者：代表取締役社長 樋口 八郎（ひぐち・はちろう）

資本金：2,000万円

従業員：20名

本社：〒464-0075 名古屋市千種区内山 3-5-3

ホームページ：<https://www.news-pub.co.jp>

概要：1964年の創業以来、工作機械の専門誌《月刊生産財マーケティング》を中心に、FA業界向けの図書を多数出版。2018年には産業用ロボットに特化したウェブマガジン「robot digest」を創刊。

【愛知県機械工具商業協同組合について】

設立：1949（昭和24）年

代表者：理事長 水谷 隆彦（みずたに・たかひこ＝ミズタニ機販株式会社 代表取締役社長）

組合員：228社 賛助会員：106社（2020年10月現在）

所在地：〒456-0032 名古屋市熱田区三本松町 16-8

ホームページ：<http://www.aikiko.or.jp>

概要：愛知県内に所在する機械工具（工作機械、産業用ロボット、自動化システム、周辺機器、工具、測定機器など）商社の協同組合。情報共有だけでなく、勉強会や若手経営者の育成と交流に力を入れる。

本件に関する問い合わせ

株式会社ニュースダイジェスト社 MECT事務局 担当：平野、西塚

Tel: 052-732-2455 Fax: 052-732-2457

公式Webサイト：<https://mect-japan.com/2021>